

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	229名

1. 使用状況

寄贈物品名	プレイフォームマット
使用学年及び人数	小学部1年～6年 合計86人
使用頻度	学年ごとに週1回(約30分)
使用状況	<p>学習指導要領(特別支援学校)に示される自立活動の学習で示されている「環境の把握」や「人間関係の形成」、「身体の動き」の内容を扱う際に使用している。プレイフォームマットの平均台や飛び石状のマット等の各パーツを目的に応じて各教室に持ち込み、教員自作のハードルやフープくぐり等の教材と組み合わせながら学習効果を上げている。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>児童は、プレイフォームマットを使用した活動に非常に積極的に楽しそうに取り組んでいる。継続して取り組んできたことで、バランス感覚が高まり、「立って靴や下衣を脱ぎ履きすることが上手になった」、「階段の昇降がスムーズになった」、「転倒が減った」等の変化が現れている。また、ボディイメージを高めることにつながり、「模倣が上手になった」「ボールを蹴る動きが上手になった」等の変化も現れている。その他にも、姿勢保持力や筋力等が付き、学校生活全般において様々な活動に向かうための身体的、心理的な基礎力を身に付けることにつながっている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>毎週短い時間ではあるが、平均台や半円形のマットでバランスを取る活動をしたり、飛び石状のマットで姿勢保持力や筋力を高めたりする活動に取り組むことができた。プレイフォームマットを使った身体を動かす活動に、安全に安心して取り組むことができることで、児童のより主体的な取り組みを引き出すことができ、自立活動(時間の指導)の充実につながっている。</p>
その他希望や所感など	

2. 活用の様子



バランスを取りながら歩きます。平均台から落ちずに渡り切ることができるようになってきました。

丸印を目掛けて跳んだり、踏まないようにまたいだり、とても楽しいマットで子供たちも大好きな活動です。



様々な教材と組み合わせ、長いコースを作って使用しています。子供たちが自分から取り組みたくなる楽しい活動になっています。